

2015-12試験問題（白石忠志）

（実際に使った試験問題から若干変えている。）

（講義を前提とした出題であり、持込み可である。）

第1問（全体の3割程度の配点）

エレベータの製造と保守を兼業するYが、故障を起こしたエレベータのユーザAへの交換用部品の供給を遅らせることによって、その時点でAと契約していた独立系保守業者Bを排除したのではないかとの独禁法違反の疑いを持たれた。この場合、Yの側に立った法的反論としてどのようなものがあり得るか。

①行為要件、②反競争性、③正当化理由、の3分野に分けて説明してください。

第2問（全体の2割程度の配点）

元詰種子について、個々の需要者はどの元詰種子メーカーの品種を選ぶかを最初から決めており、すなわち個々の需要者は価格をみて選んでいるわけではなく、元詰種子メーカーは単に価格を設定するための目安として他の元詰種子メーカーとともに標準価格を決めていた、と仮定する。この標準価格決定行為が独禁法違反の疑いを持たれた場合、メーカー側に立った法的反論を考えてください。

第3問（全体の2割程度の配点）

宅配便配達員から次のような話を聞いたと仮定して、景表法の観点からコメントしてください。

「 「松阪牛」と表示しているけれども実は松阪牛ではない牛肉が消費者庁のガイドラインによく出てくるくらい問題になっているそうですね。配達している荷物にも「松阪牛」と表示された牛肉が多くあるようです。景表法には課徴金も導入されるそうですね。ウソの表示をしたのが食品会社でも、一般消費者と直に接しているのは私たち宅配便会社なので、少し心配しています。ところで年末はとても忙しいので11月が30日で終わるのは名残惜しいですね。 」

第4問（全体の3割程度の配点）

別紙（FTCサイト文書の最初のページのみを配布）は、OSS同士の企業結合について、1997年のStaplesとOffice Depotの企業結合計画に対する結論と、2013年のOffice DepotとOfficeMaxの企業結合計画に対する結論とが、なぜ異なったのかを、米国のFTCが説明した文書の一部である。

①1997年の事例で「OSS-only market」が検討対象市場とされた根拠としてFTCが挙げている事柄を日本語で紹介してください（逐語訳は不要）。

②それらがなぜ、「OSS-only market」を検討対象市場とする根拠となるのか、を説明してください。

以上